

2025年11月28日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、いのち（生命）の源である食を支え、人はもとより全ての生命を守り、地域に必要な協同活動により、食と緑と水の環境を保全し、協力しあう思いやりや助け合う心を育む「生命・地域・環境・和を大切にし、協同活動を通じて地域社会に貢献します。」を理念として掲げています。
- 当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまに質の高い金融サービスと万全な保障・サービスの提供を通じて、安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

市川市農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1、補充原則2本文および(注1、2)、補充原則3本文および(注1、2、3)、補充原則4本文および(注1、2、3)、補充原則5本文および(注1、2)】

- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ お客さまに対面で金融商品を販売する際には、適合性チェックシートを活用した、適切な販売を心がけております。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社でのプロダクトガバナンスの実効性を確認の上、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより商品数が増減することがございます。
- ・ お客さまにより良い金融商品を提供するため、JAバンク全体として、共通フォーマットにて金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況等を投資運用会社と情報共有し、その結果のフィードバックを受けております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

➡ コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア(中核)資産」と
攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法



※ 商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

お客さまへの最適な商品提供②

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

- 当JAは対面による「3Q活動」の実践を通じて、新たな生活様式の浸透によるお客さまの生活スタイル変化に対応した最良・最適な保障・サービスの提供をしています。
- がん治療は入院日数が短期化し、「入院治療」から「通院治療」へシフトしています。加えて薬物治療や在宅医療が増加傾向にあり、その費用も高額化したことを受けて、新しいがん共済は今までの入院・手術等の保障に加え、通院治療・在宅医療や薬物治療も月額で包括的に保障し、がん治療にかかる収入減少などの経済的な負担に対応した保障へと生まれ変わりました。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は9月末時点で94.8%となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客について相互に連携しております。

I.取組状況

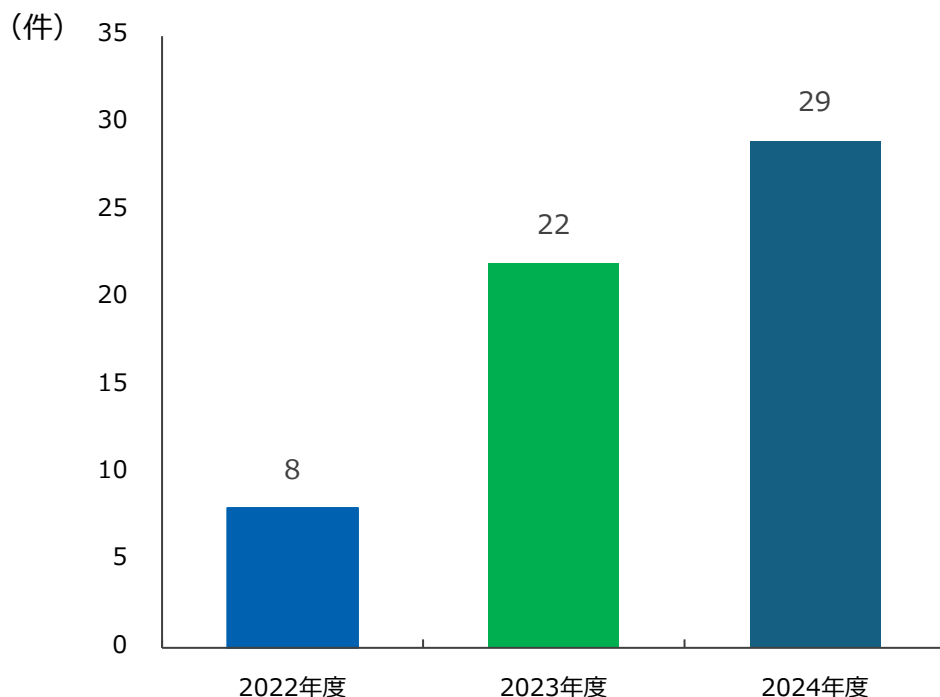
2 お客さま本位の提案と情報提供①

【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

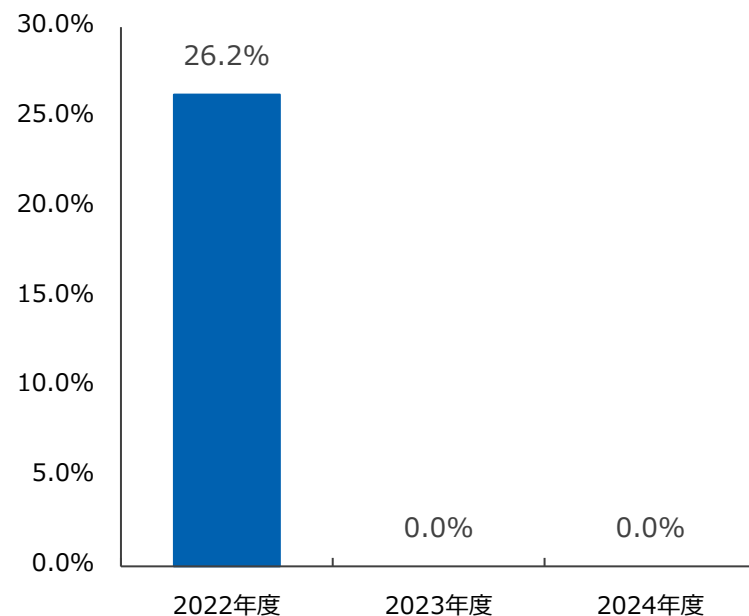
（1）信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が 0 % になりました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

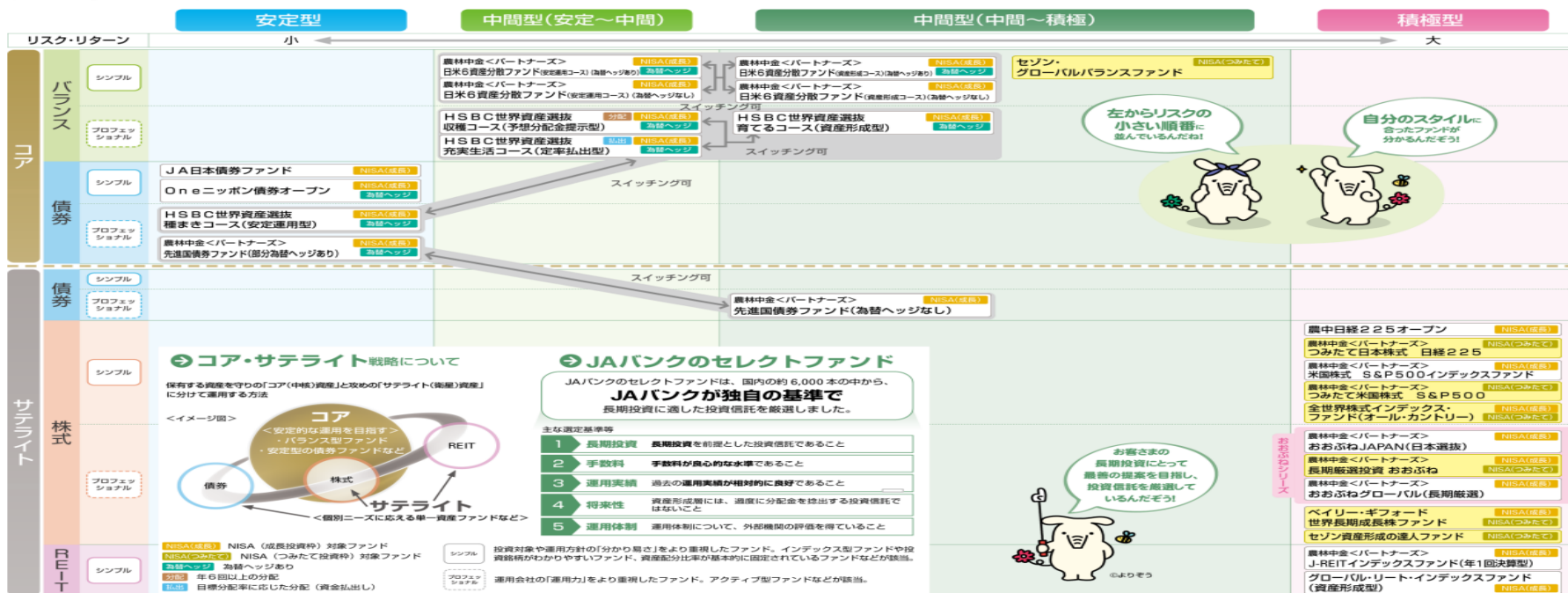
【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、各商品におけるリスクの特性や手数料等の重要な事項については、重要情報シートや目論見書等を使用することで商品の内容を分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ、J Aバンクアプリ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ

2025年6月



2 お客さま本位の提案と情報提供③

(1) 共済事業活動

① 共済仕組み・サービスのご提案

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、お客さまに寄り添ったフォロー活動を展開し、「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスの取れた総合保障の提供を行い、万全な保障・サービスの提供を通じて信頼性・満足度向上に取り組んでおります。

② 情報提供

- お客さま一人ひとりのご意向に基づき、ひと・いえ・くるま・農業と生活環境リスクに対して、安心して備えられるよう各種公的保険制度にかかる情報提供、ニーズに合った万全な保障・サービスをご提案します。
- 各種共済加入については、お客さまの現在の加入内容の確認と保障点検シートを活用し、ご意向を確認・把握したうえで、ご理解・ご納得いただける保障内容の提案、重要事項説明(契約概要・注意喚起事項)を実施いたします。

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

(1) 共済の事業活動

③ 契約締結時の対応

- お客さまの意向に基づいた適正な契約を締結するために、お客さまの生活状況・家族構成・保障ニーズを丁寧にヒアリングしお客さまにあった共済種類や保障内容を検討しております。

④ 高齢者対応

- ご高齢のお客さまに対しては、親族の同席を原則としており、複数回の訪問時には役席者の同席等により複数名で丁寧に分かりやすい説明を行いご意向を確認し、理解度を十分に確認のうえ慎重に対応しております。
- 高齢者対応における親族等の同席の割合は、令和7年9月末、生命総合共済70.9%、建物更生共済49.6%となります。
- なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡し、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

(1) 共済の事業活動

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ご加入後も定期的な訪問活動を継続し、適切な保障提供が行われているか確認をするとともに、各種サービス情報の提供等、お客さまに寄り添った取組みを実施しております。
- 共済のご加入にあたり、共済掛金の他もお客さまにご負担いただく手数料等はございません。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- サービスの高度化を目指すため、利益相反の発生可能性がある取引については、月次・年次の定期モニタリングにより適切な管理を行います。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

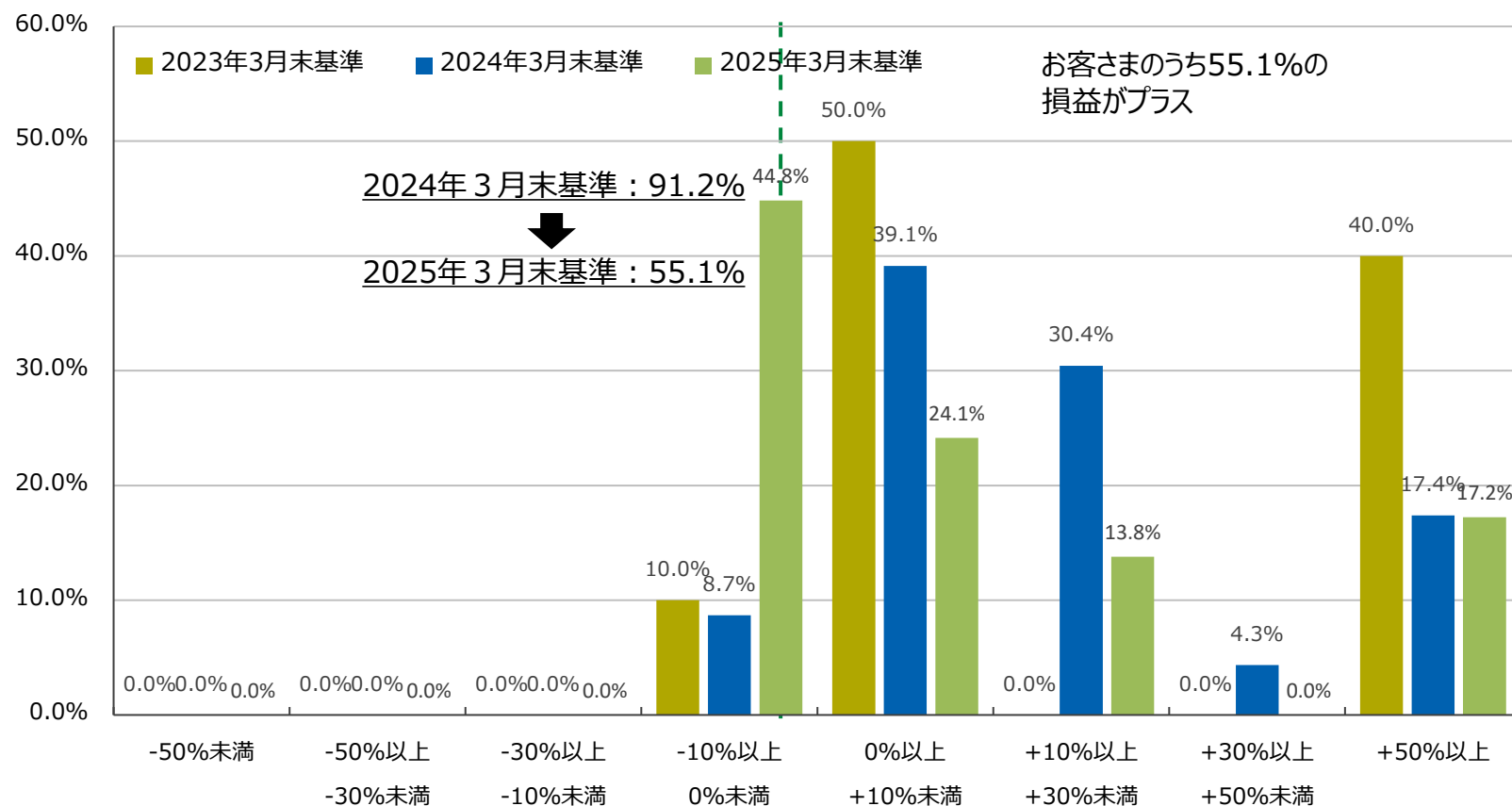
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- JAバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、各種研修会を通じた指導を行い、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築していきます。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の55.1%のお客さまの損益がプラスとなりました。

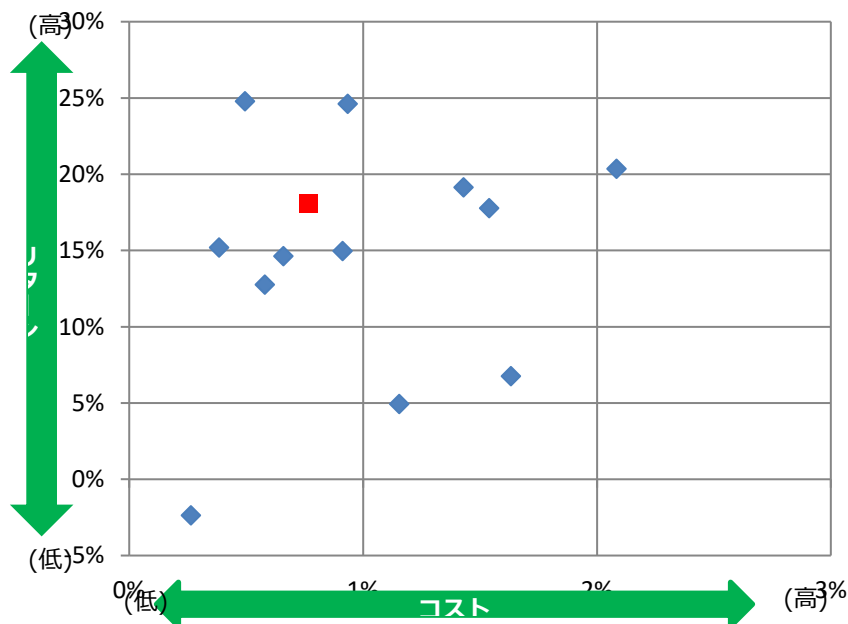


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

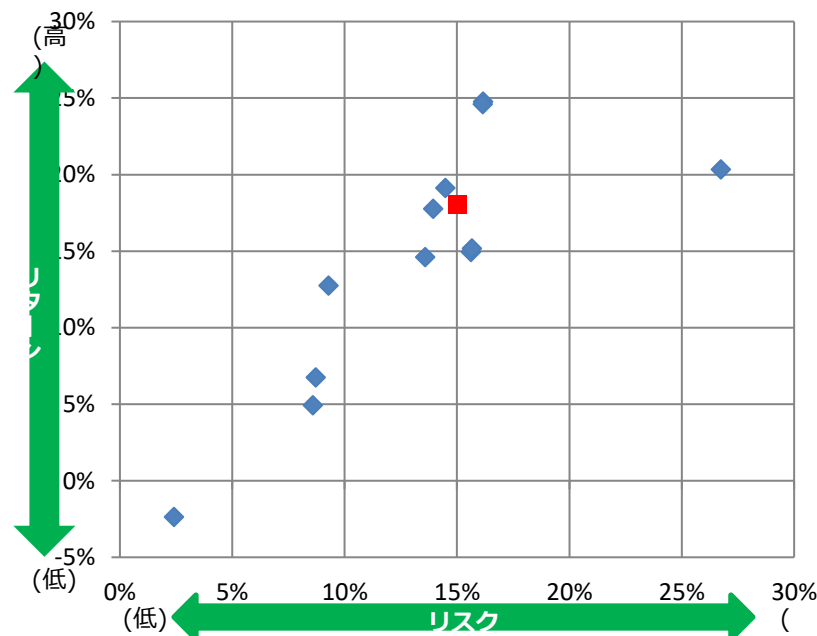
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.77%、平均リスク15.04%に対して、平均リターンは18.05%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



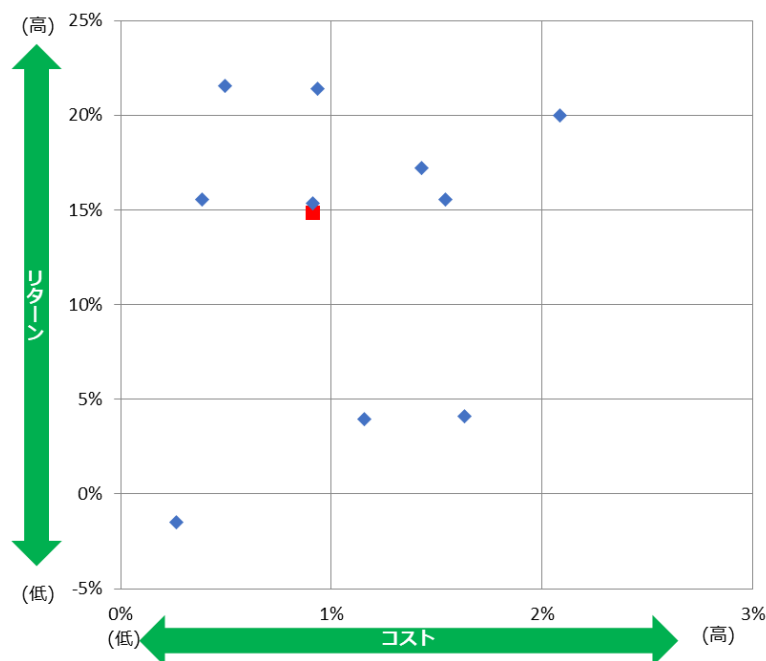
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、10ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

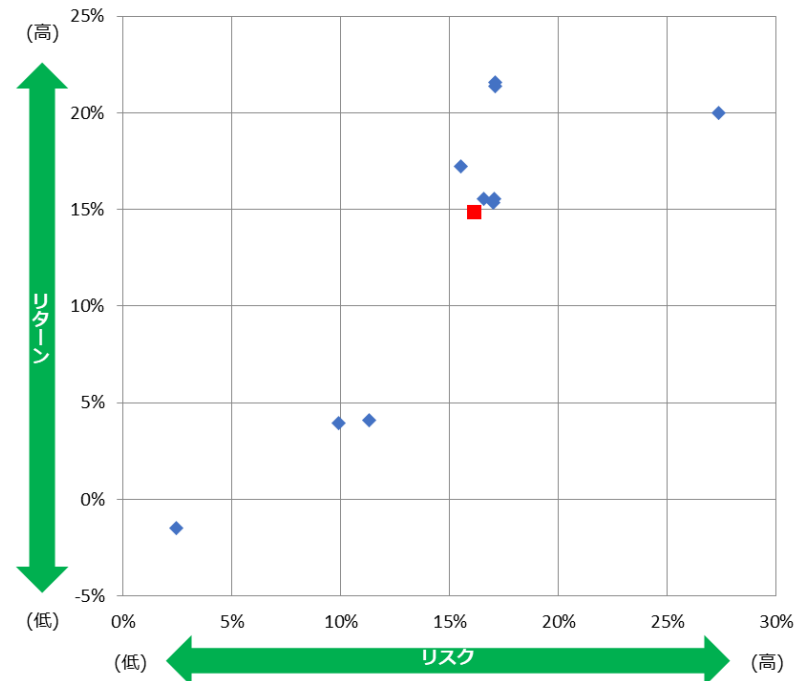
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク16.11%に対して、平均リターンは14.85%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



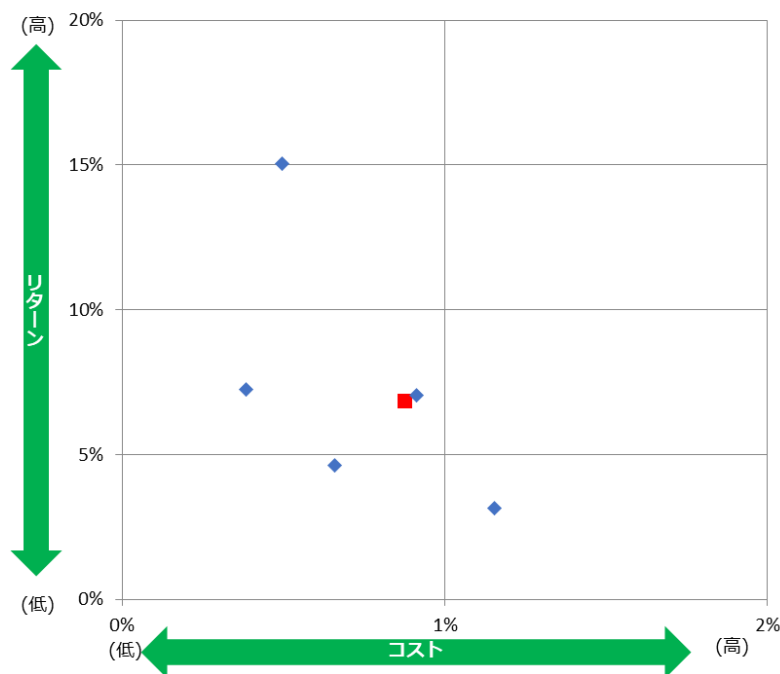
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、11ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

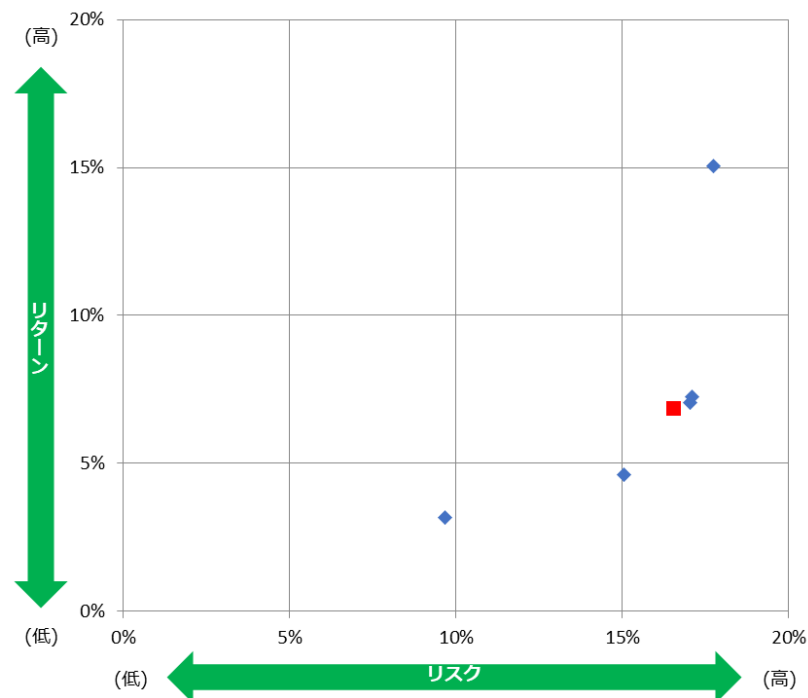
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.88%、平均リスク16.54%に対して、平均リターンは6.86%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、12ページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
3	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
4	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
5	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
7	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
9	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
10	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
11	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
12	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		18.05%	15.04%	0.77%

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
6	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
7	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
9	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
10	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		14.85%	16.11%	0.91%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
3	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
4	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.86%	16.54%	0.88%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。